

《担当者名》 太田亨 森谷 満

【概要】

医学の発展とともに日々変化していく医療の実際を学ぶためには、その基礎をなす内科疾患についての理解を深めることが重要である。このため内科疾患の病因、病態生理、症候、診断、検査、治療に関する知識を系統的に修得することを目標とする。

【学修目標】

以下の疾患（群）について病因、病態、診断および治療などを説明できることを目標とする。

1. 高血圧、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病について概説できる。
2. アレルギー、自己免疫疾患、感染症、血液疾患などについて概説できる。
3. 心不全などの循環器疾患、肺気腫などの呼吸器疾患などについて概説できる。
4. パセドー病などの内分泌疾患、腎不全などの腎・泌尿器疾患などについて概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	内科学総論、生活習慣病、代謝性疾患	本邦の三大死因、および生活習慣病（糖尿病、高脂血症、メタボリックシンドロームなど）の解説	太田 亨
2	内分泌疾患	内分泌器官による生体機能調節、下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患などの解説	太田 亨
3	消化管疾患	胃十二指腸潰瘍、消化管の悪性腫瘍、炎症性腸疾患などの解説	太田 亨
4	肝胆膵疾患	肝炎、胆石、胆嚢炎、膵炎、ならびに肝胆膵悪性腫瘍などの解説	太田 亨
5	血液疾患	造血・止血凝固の機序、造血障害、凝固障害、血液系腫瘍性疾患などの解説	太田 亨
6	心身症	心身症についての解説	森谷 満
7	心身症	心身症についての解説	森谷 満
8	アレルギー、自己免疫性疾患	免疫システムとアレルギーの機序、リウマチ、SLEなどの自己免疫性疾患の解説	太田 亨
9	感染症	微生物学総論、細菌感染症、ウイルス感染症、真菌感染症などの解説	太田 亨
10	呼吸器疾患	呼吸障害、肺炎、肺水腫、肺気腫、肺腫瘍、気管支喘息などの解説	太田 亨
11	循環器疾患	心不全、不整脈、虚血性心疾患、弁膜症、心奇形などの解説	太田 亨
12	腎疾患	腎機能の概説、腎不全、急性 慢性腎炎などの解説	太田 亨
13	内科学の総合知識 1	悪性腫瘍、白血病	太田 亨
14	内科学の総合知識 2	老化、廃用症候群	太田 亨
15	内科学の総合知識 3	全体のまとめを行う。	太田 亨

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（マークシート形式）100%。マークシート式で評価し、60点以上を合格とする。

【教科書】

浅野嘉延 編著 「なるほどなっとく！内科学 改訂2版」 南山堂 2020年

【参考書】

矢崎義雄 他 編 「内科学 第10版」 朝倉書店 2013年

吉岡成人 著 「系統看護学講座 成人看護学 内分泌・代謝」 医学書院 2015年
川村雅文 著 「系統看護学講座 成人看護学 呼吸器」 医学書院 2015年
岩田健太郎 著 「系統看護学講座 成人看護学 アレルギー 膠原病 感染症内分泌」 医学書院 2016年
橋本信也 編 「エキスパートナースMOOK13 内科疾患看護マニュアル」 照林社 1993年
伊東進 他 編著 「コメディカルのための内科学」 医学出版社 2006年

【学修の準備】

予習は、各時限の講義項目の教科書領域を、一読し理解しておくこと(80分)。

復習は、講義項目の内容を記憶すること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP3) 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

(DP4) 関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。

【実務経験】

太田 亨(医師)、森谷 満(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

医師としての実務経験を活かした講義をすることで、医療の現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。